

平成20年10月31日

岡山大学医学部収容定員変更関係
設置計画書

(正本)

(抜粋)

国立大学法人
岡山大学

様式第1号の1

岡山大学医学部収容定員変更関係設置計画書

平成20年10月31日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人岡山大学長

千葉 喬 三

この度、岡山大学医学部の収容定員変更を行いたいので、別添書類を提出します。

なお、収容定員変更の上は、確実に提出した計画を履行します。

基本計画書

基本計画																																																								
事項	記入欄						備考																																																	
計画の区分	医学部の収容定員の変更																																																							
フリガナ設置者	コクリツガクイフクホクシンオカヤマダク																																																							
フリガナ大学の名称	オカヤマダク (Okayama University)																																																							
大学本部の位置	岡山県岡山市津島中一丁目1番1号																																																							
大学の目的	<p>岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食糧、経済、保健、安全、教育等一の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とする。</p> <p>このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施する。</p>																																																							
新設学部等の目的	<p>本学部は、医の倫理に徹し、科学的思考法と高度の医学的知識を体得し、社会的信頼を得るに足る臨床医及び医学研究者を養成すること並びに高い臨床能力を持つ医療技術者及び医療技術科学の研究者を養成することを教育目的とし、もって人類の健康と福祉に貢献することを使命とする。</p> <p>地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（平成20年8月5日付け20文科高第343号高等教育局長通知）に基づき、医師不足が深刻な地域や診療科の医療を担う医師養成の推進、地域医療機関との連携による地域医療への貢献を行うため、医学部医学科の入学定員5名増を行い、これに伴う収容定員変更を行うものである。</p>																																																							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地																																																
	医学部 医学科	6年	105 (100)	3年次5人	650 (620)	学士（医学）	平成21年4月 第1年次	岡山県岡山市鹿田町 二丁目5番1号																																																
	保健学科 看護学専攻	4年	80	3年次10人	340	学士（看護学） 学士（保健学）	平成10年10月 第1年次	<p>収容定員のうち30名は平成29年度までの措置。入学定員、収容定員の経緯は以下のとおり。</p> <p>（入学定員、収容定員変更の経緯）</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21</td><td>105</td><td>600</td></tr> <tr><td>22</td><td>105</td><td>610</td></tr> <tr><td>23</td><td>105</td><td>620</td></tr> <tr><td>24</td><td>105</td><td>630</td></tr> <tr><td>25</td><td>105</td><td>640</td></tr> <tr><td>26</td><td>105</td><td>650</td></tr> <tr><td>27</td><td>105</td><td>650</td></tr> <tr><td>28</td><td>105</td><td>650</td></tr> <tr><td>29</td><td>105</td><td>650</td></tr> <tr><td>30</td><td>100</td><td>645</td></tr> <tr><td>31</td><td>100</td><td>640</td></tr> <tr><td>32</td><td>100</td><td>635</td></tr> <tr><td>33</td><td>100</td><td>630</td></tr> <tr><td>34</td><td>100</td><td>625</td></tr> <tr><td>35</td><td>100</td><td>620</td></tr> </tbody> </table> <p>学生募集は平成11年度から（医療技術短期大学部を廃止して設置）平成13年度から編入学の学生募集</p>	年度	入学定員	収容定員	21	105	600	22	105	610	23	105	620	24	105	630	25	105	640	26	105	650	27	105	650	28	105	650	29	105	650	30	100	645	31	100	640	32	100	635	33	100	630	34	100	625	35	100	620
	年度	入学定員	収容定員																																																					
21	105	600																																																						
22	105	610																																																						
23	105	620																																																						
24	105	630																																																						
25	105	640																																																						
26	105	650																																																						
27	105	650																																																						
28	105	650																																																						
29	105	650																																																						
30	100	645																																																						
31	100	640																																																						
32	100	635																																																						
33	100	630																																																						
34	100	625																																																						
35	100	620																																																						
放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻		40 40	3年次5人 3年次5人	170 170	学士（学術）	平成10年10月 第1年次 平成10年10月 第1年次																																																		

新設学部等の概要	文学部					学士(文学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	
	人文学科	4	175		700		平成16年4月第1年次		
	人間学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	行動科学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	歴史文化学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	言語文化学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	教育学部					学士(教育学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	
	学校教育教員養成課程	4	250		1000	学士(学術)	平成11年4月第1年次		平成18年度から定員増170→250
	養護教諭養成課程	4	30		120		昭和53年4月第1年次		
	総合教育課程	—	—		—				平成18年度から学生募集停止
	法学部					学士(法学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	
	法学科	4							
	昼間コース		205		820		平成16年4月第1年次		
	夜間主コース		20		80		平成16年4月第1年次		
	法学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	法学部第二部 法学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	経済学部					学士(経済学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	
	経済学科	4							
	昼間コース		205		820		平成16年4月第1年次		
	夜間主コース		40		160		平成16年4月第1年次		
	経済学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	経済学部第二部 経済学科	—	—		—				平成16年度から学生募集停止
	理学部					学士(理学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	
	数学科	4	20		80	学士(学術)	昭和24年4月第1年次		
	物理学科	4	35		140		昭和24年4月第1年次		
	化学科	4	30		120		昭和24年4月第1年次		
	生物学科	4	30		120		昭和24年4月第1年次		
地球科学科	4	25		100		平成7年4月第1年次			
			3年次20	40					
歯学部 歯学科	6	55	3年次5	350	学士(歯学)	昭和55年4月第1年次	岡山県岡山市鹿田町二丁目5番1号		
薬学部					学士(薬学)		岡山県岡山市津島中一丁目1番1号		
薬学科	6	40		240	学士(創薬科学)	平成18年4月第1年次			
創薬科学科	4	40		160		平成18年4月第1年次			
総合薬学科	—	—		—				平成18年度から学生募集停止	
工学部					学士(工学)		岡山県岡山市津島中三丁目1番1号		
機械工学科	4	80		320		昭和62年4月第1年次			
物質応用化学科	4	60		240		平成12年4月第1年次			
電気電子工学科	4	60		240		昭和62年4月第1年次			

新設学部等の概要	情報工学科	4	60		240		昭和62年4月 第1年次	岡山県岡山市津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
	生物機能工学科	4	80		320		平成8年4月 第1年次		
	システム工学科	4	80		320		平成8年4月 第1年次		
	通信ネットワーク工学科	4	40		160		平成12年4月 第1年次		
	環境理工学部			3年次30	60	学士(環境理工学)			
	環境数理学科	4	20		80	学士(学術)	平成6年10月 第1年次		
	環境デザイン工学科	4	50		200		平成6年10月 第1年次		
	環境管理工学科	4	40		160		平成6年10月 第1年次		
	環境物質工学科	4	40		160		平成6年10月 第1年次		
	農学部 総合農業科学科	4	120		480	学士(農学) 学士(学術)	昭和61年4月 第1年次		
計		2195 (2190)	80 (80)	9360 (9330)					
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>○ 平成21年4月改組予定(平成20年6月意見伺いにより改組可とされた。)</p> <p style="text-align: center;">改組前 改組後</p> <p>(入学定員改訂)</p> <p>医学部医学科 入学定員 95 → 100</p> <p>○ 平成21年4月改組予定(平成20年7月事前伺いにより届出による改組可とされた)</p> <p style="text-align: center;">改組前 改組後</p> <p>(入学定員改訂)</p> <p>大学院自然科学研究科(博士前期課程)地球科学専攻 入学定員 20 → 16 (学生募集停止)</p> <p>大学院自然科学研究科(博士後期課程)地球物質科学専攻 入学定員 4 → 0 (専攻新設)</p> <p>大学院自然科学研究科(博士課程)地球惑星物質科学専攻 入学定員 4</p>								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実習	計				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			

教 員 組 の 分 類	学 部 等 の 名 称	専任教員等						兼任 教員
		教授	准教授	講師	助教	計	助手	
		人	人	人	人	人	人	
新 設 の 分 類	医学部医学科	42 (42)	31 (31)	16 (16)	53 (53)	142 (142)	0 (0)	195 (195)
	医学部保健学科	28 (28)	13 (13)	0 (0)	21 (21)	62 (62)	1 (1)	48 (48)
	文学部人文学科	40 (40)	34 (34)	1 (1)	0 (0)	75 (75)	0 (0)	12 (12)
	教育学部	73 (73)	44 (44)	12 (12)	0 (0)	129 (129)	0 (0)	114 (114)
	法学部法学科	20 (20)	15 (15)	0 (0)	1 (1)	36 (36)	0 (0)	10 (10)
	経済学部経済学科	22 (22)	14 (14)	1 (1)	3 (3)	40 (40)	0 (0)	12 (12)
	理学部数学科	8 (8)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	5 (5)
	理学部物理学科	10 (10)	9 (9)	2 (2)	3 (3)	24 (24)	0 (0)	2 (2)
	理学部化学科	12 (12)	10 (10)	0 (0)	4 (4)	26 (26)	0 (0)	4 (4)
	理学部生物学科	11 (11)	8 (8)	0 (0)	4 (4)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
	理学部地球科学科	5 (5)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	2 (2)
	歯学部歯学科	16 (16)	18 (18)	0 (0)	50 (50)	84 (84)	3 (3)	72 (72)
	薬学部薬学科	11 (11)	10 (10)	0 (0)	4 (4)	25 (25)	0 (0)	22 (22)
	薬学部創薬科学科	4 (4)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	
	工学部機械工学科	8 (8)	8 (8)	1 (1)	9 (9)	26 (26)	0 (0)	25 (25)
	工学部物質応用化学科	6 (6)	7 (7)	3 (3)	6 (6)	22 (22)	0 (0)	11 (11)
	工学部電気電子工学科	8 (8)	5 (5)	1 (1)	7 (7)	21 (21)	0 (0)	12 (12)
	工学部情報工学科	6 (6)	4 (4)	3 (3)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	9 (9)
	工学部生物機能工学科	8 (8)	7 (7)	1 (1)	8 (8)	24 (24)	1 (1)	10 (10)
	工学部システム工学科	7 (7)	5 (5)	3 (3)	5 (5)	20 (20)	0 (0)	25 (25)
	工学部通信ネットワーク工学科	6 (6)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	15 (15)
	環境理工学部環境数学科	7 (7)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)
環境理工学部環境デザイン工学科	12 (12)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	22 (22)	0 (0)	9 (9)	
環境理工学部環境管理工学科	8 (8)	7 (7)	0 (0)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	3 (3)	
環境理工学部環境物質工学科	4 (4)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	7 (7)	
農学部総合農業科学科	34 (34)	21 (21)	2 (2)	6 (6)	63 (63)	0 (0)	15 (15)	
計	416 (416)	306 (306)	53 (53)	204 (204)	979 (979)	5 (5)	642 (642)	
既 設 分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
要	合 計	416 (416)	306 (306)	53 (53)	204 (204)	979 (979)	5 (5)	642 (642)

兼任教員22人は創薬科学科と共通

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計				
	事 務 職 員		485 人 (485)	130 人 (130)	615 人 (615)				
	技 術 職 員		749 人 (749)	0 人 (0)	749 人 (749)				
	図 書 館 専 門 職 員		16 人 (16)	0 人 (0)	16 人 (16)				
	そ の 他 の 職 員		9 人 (9)	0 人 (0)	9 人 (9)				
	計		1,259 人 (1,259)	130 人 (130)	1,389 人 (1,389)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	713,037 m ²	0 m ²	0 m ²	713,037 m ²				
	運 動 場 用 地	131,543 m ²	0 m ²	0 m ²	131,543 m ²				
	小 計	844,580 m ²	0 m ²	0 m ²	844,580 m ²				
	そ の 他	15,746 m ²	0 m ²	0 m ²	15,746 m ²				
	合 計	860,326 m ²	0 m ²	0 m ²	860,326 m ²				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の	計				
		446,771 m ² (446,771 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	446,771 m ² (446,771 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	90 室	52 室	722 室	4 室 (補助職員 5人)	2 室 (補助職員 2人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		大学全体		863 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	2,071,600 〔735,195〕 (2,071,600 〔735,195〕)	42,329 〔16,114〕 (42,329 〔16,114〕)	8,786 [8,786] (8,786 [8,786])	3,651 (3,651)	17,107 (17,107)	0 (0)		
	計	2,071,600 〔735,195〕 (2,071,600 〔735,195〕)	42,329 〔16,114〕 (42,329 〔16,114〕)	8,786 [8,786] (8,786 [8,786])	3,651 (3,651)	17,107 (17,107)	0 (0)		
図書館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		21,150 m ²	1,213	1,530,150					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		8,700 m ²							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									
既設大学等の状況	大 学 の 名 称	岡山大学							
	学 部 等 の 名 称	修業年	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次	人		倍		
	文学部					学士(文学)	1.07		
	人文学科	4	175	—	700		1.07	平成16年度	岡山市津島中三丁目1番1号
	人間学科	—	—	—	—		—	平成7年度	平成16年度から学生募集停止
	行動科学科	—	—	—	—		—	平成7年度	平成16年度から学生募集停止
	歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度	平成16年度から学生募集停止
	言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度	平成16年度から学生募集停止
	教育学部					学士(教育学)	1.09		
学校教育教員養成課程	4	250	—	920	学士(学術)	1.09	平成11年度	岡山市津島中三丁目1番1号	
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.06	昭和53年度	平成18年度から定員増 170→250	
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度	平成18年度から学生募集停止	

既	法学部					学士(法学)	1.06		岡山市津島中三丁目1番1号		
	法 学 科										
	昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度			
	夜間主コース	4	20	—	80		1.08	平成16年度			
設	法 学 科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止	
	法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止	
	経済学部					学士(経済学)	1.09		岡山市津島中三丁目1番1号		
	経済学科										
大	昼間コース	4	205	—	820		1.07	平成16年度			
	夜間主コース	4	40	—	160		1.15	平成16年度			
	経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止	
	経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止	
学	理学部					学士(理学)	1.23		岡山市津島中三丁目1番1号		
	数 学 科	4	20		80	学士(学術)	1.35	昭和24年度			
	物理学科	4	35		140		1.17	昭和24年度			
	化 学 科	4	30		120		1.26	昭和24年度			
	生物学科	4	30		120		1.20	昭和24年度			
	地球科学科	4	25		100		1.24	平成7年度			
				3年次20	40						
	医学部					学士(医学)	1.02		岡山市鹿田町二丁目5番1号		
	医 学 科	6	95	3年次5	590	学士(看護学)	1.00	昭和24年度		平成13年度から編入学の学生募集	
	保健学科	4				学士(保健学)	1.04	平成10年度		学生募集は平成11年度から	
等	看護学専攻		80	3年次10	340	学士(学術)	1.09	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)	
	放射線技術科学専攻		40	3年次5	170		1.08	平成10年度			
	検査技術科学専攻		40	3年次5	170						
	歯学部					学士(歯学)	1.01		岡山市鹿田町二丁目5番1号		
の	歯 学 科	6	55	3年次5	350			昭和55年度			
	薬学部					学士(薬学)	1.07		岡山市津島中一丁目1番1号		
	薬 学 科	6	40	—	120	学士(創薬科学)	1.08	平成18年度			
	創薬科学科	4	40	—	120		1.07	平成18年度			
状	総合薬学科	—	—	—	—		—	平成11年度		平成18年度から学生募集停止	
	工学部					学士(工学)	1.12		岡山市津島中三丁目1番1号		
	機械工学科	4	80		320		1.12	昭和62年度			
	物質応用化学科	4	60		240		1.11	平成12年度			
	電気電子工学科	4	60		240		1.20	昭和62年度			
	情報工学科	4	60		240		1.06	昭和62年度			
	生物機能工学科	4	80		320		1.09	平成8年度			
	システム工学科	4	80		320		1.11	平成8年度			
	通信ネットワーク工学科	4	40		160		1.21	平成12年度			
				3年次30	60						
況	環境理工学部					学士(環境理工学)	1.15		岡山市津島中三丁目1番1号		
	環境数理学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.17	平成6年度		学生募集は平成7年度から	
	環境デザイン工学科	4	50	—	200		1.17	平成6年度			
	環境管理工学科	4	40	—	160		1.16	平成6年度			
	環境物質工学科	4	40	—	160		1.12	平成6年度			
	農学部					学士(農学)					
	総合農業科学科	4	120	—	480	学士(学術)	1.14	昭和61年度	岡山市津島中一丁目1番1号		
	教育学研究科						1.06		岡山市津島中三丁目1番1号		
	(修士課程)					修士(教育学)					
	学校教育専攻	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成20年度より学生募集停止	
障害児教育専攻	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成20年度より学生募集停止		
国語教育専攻	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成20年度より学生募集停止		

社会科教育専攻	—	—	—	—	—	昭和57年度	平成20年度より学生募集停止
数学教育専攻	—	—	—	—	—	昭和55年度	平成20年度より学生募集停止
理科教育専攻	—	—	—	—	—	昭和55年度	平成20年度より学生募集停止
音楽教育専攻	—	—	—	—	—	昭和56年度	平成20年度より学生募集停止
美術教育専攻	—	—	—	—	—	昭和55年度	平成20年度より学生募集停止
保健体育専攻	—	—	—	—	—	昭和56年度	平成20年度より学生募集停止
技術教育専攻	—	—	—	—	—	平成15年度	平成20年度より学生募集停止
家政教育専攻	—	—	—	—	—	昭和59年度	平成20年度より学生募集停止
英語教育専攻	—	—	—	—	—	昭和55年度	平成20年度より学生募集停止
養護教育専攻	—	—	—	—	—	平成9年度	平成20年度より学生募集停止
学校教育臨床専攻	—	—	—	—	—	平成11年度	平成20年度より学生募集停止
カリキュラム開発専攻	—	—	—	—	—	平成11年度	平成20年度より学生募集停止
教育組織マネジメント専攻	—	—	—	—	—	平成16年度	平成20年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	6	—	6	1.00	平成20年度	
発達支援学専攻	2	9	—	9	0.77	平成20年度	
教科教育学専攻	2	47	—	47	1.12	平成20年度	
教育臨床心理学専攻	2	8	—	8	1.00	平成20年度	
(専門職学位課程)							
教職実践専攻	2	20	—	20	1.00	平成20年度	
文化科学研究科						岡山市津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)							
社会文化基礎学専攻	—	—	—	—	—	平成16年度	平成18年度より学生募集停止
比較社会文化学専攻	—	—	—	—	—	平成16年度	平成18年度より学生募集停止
(博士後期課程)							
社会文化学専攻	—	—	—	—	—	平成16年度	平成18年度より学生募集停止
人間社会文化学専攻	—	—	—	—	—	平成5年度	平成16年度より学生募集停止
産業社会文化学専攻	—	—	—	—	—	平成5年度	平成16年度より学生募集停止
社会文化科学研究科					1.17	平成18年度から名称変更	岡山市津島中三丁目1番1号
(博士前期課程)							
社会文化基礎学専攻	2	27	—	54	0.85	平成18年度	
比較社会文化学専攻	2	40	—	80	0.91	平成18年度	
公共政策科学専攻	2	19	—	38	0.99	平成18年度	
組織経営専攻	2	14	—	28	1.46	平成18年度	
(博士後期課程)							
社会文化学専攻	3	12	—	36	1.33	平成18年度	
自然科学研究科					1.11		岡山市津島中三丁目1番1号
(博士前期課程)							
数理物理科学専攻	2	36	—	72	0.93	平成11年度	
地球科学専攻	2	20	—	40	0.72	平成11年度	
機械システム工学専攻	2	83	—	166	1.49	平成11年度	
電子情報システム工学専攻	2	76	—	152	1.46	平成11年度	
物質生命工学専攻	2	67	—	134	1.32	平成11年度	
生物資源科学専攻	2	42	—	84	0.96	平成11年度	
生物圏システム科学専攻	2	26	—	52	1.14	平成11年度	
分子科学専攻	2	23	—	46	1.06	平成17年度	
生物科学専攻	2	20	—	40	1.30	平成17年度	
(博士後期課程)							
数理電子科学専攻	—	—	—	—	—	平成13年度	平成17年度より学生募集停止
基盤生産システム科学専攻	—	—	—	—	—	平成12年度	平成17年度より学生募集停止
物質分子科学専攻	—	—	—	—	—	平成12年度	平成17年度より学生募集停止
生体機能科学専攻	—	—	—	—	—	平成13年度	平成17年度より学生募集停止
生命分子科学専攻	—	—	—	—	—	平成12年度	平成17年度より学生募集停止
資源管理科学専攻	—	—	—	—	—	平成12年度	平成17年度より学生募集停止
地球・環境システム科学専攻	—	—	—	—	—	平成13年度	平成17年度より学生募集停止
エネルギー転換科学専攻	—	—	—	—	—	平成11年度	平成17年度より学生募集停止
先端基礎科学専攻	3	15	—	37	0.64	平成17年度	平成19年度から定員減 15→11
産業創設工学専攻	3	23	—	69	1.14	平成17年度	
機能分子科学専攻	3	23	—	69	0.64	平成17年度	
バイオインクス専攻	3	28	—	84	1.08	平成17年度	
地球物質科学専攻	3	4	—	8	1.12	平成19年度	
保健学研究科					1.40		岡山市鹿田町二丁目5番1号
(修士課程)							
保健学専攻	—	—	—	—	—	平成15年度	平成17年度より学生募集停止
(博士前期課程)							
保健学専攻	2	26	—	52	1.18	平成17年度	

(博士後期課程) 保健学専攻	3	10	—	30	博士(保健学)	1.53	平成17年度		
環境学研究科 (博士前期課程)						1.08		岡山市津島中三丁目1番1号	
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	修士(環境学)、修士(学術)	1.13	平成17年度		
生命環境学専攻	2	26	—	52		0.42	平成17年度		
資源循環学専攻	2	50	—	100		1.03	平成17年度		
(博士後期課程)									
社会基盤環境学専攻	3	6	—	18	博士(環境学)、博士(学術)	1.44	平成17年度		
生命環境学専攻	3	5	—	15		1.33	平成17年度		
資源循環学専攻	3	11	—	33		0.96	平成17年度		
医歯学総合研究科 (博士課程)								岡山市鹿田町二丁目5番1号	
生体制御科学専攻	—	—	—	—	博士(医学)、博士(歯学)、博士(学術)	—	平成13年度		平成17年度より学生募集停止
病態制御科学専攻	—	—	—	—		—	平成13年度		平成17年度より学生募集停止
機能再生・再建科学専攻	—	—	—	—		—	平成13年度		平成17年度より学生募集停止
社会環境生命科学専攻	—	—	—	—		—	平成13年度		平成17年度より学生募集停止
医歯薬学総合研究科 (修士課程)						1.14	平成17年度 名称変更	岡山市鹿田町二丁目5番1号	
医歯科学専攻	2	20	—	40	修士(医科学)、修士(歯科学)、修士(学術)	1.47	平成17年度		
(博士前期課程)									
創薬生命科学専攻	2	65	—	130	修士(薬学)	1.44	平成17年度		
(博士後期課程)									
創薬生命科学専攻	3	16	—	48	博士(薬学)	1.43	平成17年度		
(博士課程)									
生体制御科学専攻	4	40	—	160	博士(医学)、博士(歯学)、博士(学術)	0.67	平成17年度		
病態制御科学専攻	4	36	—	144		1.72	平成17年度		
機能再生・再建科学専攻	4	30	—	120		0.93	平成17年度		
社会環境生命科学専攻	4	22	—	88		0.64	平成17年度		
法務研究科 (専門職学位課程)						0.97		岡山市津島中三丁目1番1号	
法務専攻	3	60	—	180	法務博士(専門職)	0.97	平成16年度		
附属施設の概要	<p>名称：岡山大学資源生物科学研究所（大学附置研究所） 目的：近未来における食料、資源、環境問題に対応するため資源生物の新機能を開発、利用するための学理と応用の研究を行う。 所在地：倉敷市中央二丁目20-1 設置年月：昭和63年4月 規模等 土地 38,007㎡ 建物 9,144㎡</p> <p>名称：岡山大学地球物質科学研究センター（全国共同利用施設） 目的：地球の起源、進化及びダイナミクスに関する研究を行う。 所在地：鳥取県東伯郡三朝町山田827 設置年月：昭和63年4月 規模等 土地 37,844㎡ 建物 5,695㎡</p> <p>名称：岡山大学医学部・歯学部附属病院 目的：診療を通じて医学及び歯学の教育及び研究を行う。 所在地：岡山市鹿田町二丁目5-1 設置年月：平成15年10月（医学部附属病院と歯学部附属病院を統合） 規模等 土地 135,327㎡（注） 建物 112,042㎡ *土地面積は、医学部及び歯学部が同一敷地にあり分離できないため総面積で記載している。</p>								

学則等の変更事項を記載した書類

1 国立大学法人岡山大学管理学則（緊急医師確保対策及び地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成推進策に伴う入学定員の各5名，合計10名の増に係る関係条項の変更）

① 変更の事由

医学部の収容定員変更に伴う所用の整備を図るため。

② 変更点

医学部の収容定員変更に伴い，第52条関係別表第1に係る収容定員，入学定員を変更した。その他，収容定員変更に伴う必要事項を改正した。

2 岡山大学医学部規程（緊急医師確保対策に伴う改正のみ。地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成推進策に関しては，必要となる改正事項はなし。）

① 変更の事由

医学部の収容定員変更に伴う所用の整備を図るため。

② 変更点

医学部の収容定員変更に伴い，第10条関係別表第2に係る医学科の専門教育科目の授業科目名等を追加した。また，第28条関係別表第4に係る卒業要件単位を変更した。その他，収容定員変更に伴う必要事項を改正した。

【改正理由】 国の緊急医師確保対策及び地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成推進策に基づき、医学部医学科の入学定員を増員することに伴う所要事項の整備のため。

国立大学法人岡山大学管理学則の一部改正新旧対照表（案）

現 行	改 正																																														
<p>第1条～第51条 省 略 （収容定員等） 第52条 学部，学科等別収容定員等は，別表第1のとおりとする。 第53条～第68条 省 略</p>	<p>第1条～第51条 同 左 （収容定員等） 第52条 学部，学科等別収容定員等は，別表第1のとおりとする。 第53条～第68条 同 左</p> <p style="text-align: center;"><u>附 則</u></p> <p>1 <u>この学則は，平成21年4月1日から施行する。</u> 2 <u>改正後の別表第1の規定にかかわらず，医学部の医学科及び計並びに合計の収容定員及び入学定員は，次の表のとおりとする。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 部</th> <th rowspan="2">学 科 等</th> <th colspan="5">収 容 定 員</th> </tr> <tr> <th>平成 21年度</th> <th>平成 22年度</th> <th>平成 23年度</th> <th>平成 24年度</th> <th>平成 25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>医学科</td> <td>人 600</td> <td>人 610</td> <td>人 620</td> <td>人 630</td> <td>人 640</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,280</td> <td>1,290</td> <td>1,300</td> <td>1,310</td> <td>1,320</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>9,230</td> <td>9,280</td> <td>9,330</td> <td>9,340</td> <td>9,350</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">収 容 定 員</th> <th>入 学 定 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度から 平成29年度まで</td> <td>平成 30年度</td> <td>平成 31年度</td> <td>平成 32年度</td> <td>平成 33年度</td> <td>平成 34年度</td> <td>平成21年度から 平成29年度まで</td> </tr> </tbody> </table>	学 部	学 科 等	収 容 定 員					平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	医学部	医学科	人 600	人 610	人 620	人 630	人 640	計	1,280	1,290	1,300	1,310	1,320	合 計		9,230	9,280	9,330	9,340	9,350	収 容 定 員						入 学 定 員	平成26年度から 平成29年度まで	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成21年度から 平成29年度まで
学 部	学 科 等			収 容 定 員																																											
		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度																																									
医学部	医学科	人 600	人 610	人 620	人 630	人 640																																									
	計	1,280	1,290	1,300	1,310	1,320																																									
合 計		9,230	9,280	9,330	9,340	9,350																																									
収 容 定 員						入 学 定 員																																									
平成26年度から 平成29年度まで	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成21年度から 平成29年度まで																																									

別表第1（第52条関係）

学 部	学 科 等	収容定員	入学定員	第3年次 編入学定員
		人	人	人
文学部	人文学科	700	175	
	計	700	175	
教育学部	学校教育教員養成課程	1,000	250	
	養護教諭養成課程	120	30	
	計	1,120	280	
法学部	法学科			
	昼間コース	820	205	
	夜間主コース 計	80 900	20 225	
経済学部	経済学科			
	昼間コース	820	205	
	夜間主コース 計	160 980	40 245	
理学部	数学科	80	20	

人	人	人	人	人	人	人
650	645	640	635	630	625	105
1,330	1,325	1,320	1,315	1,310	1,305	265
9,360	9,355	9,350	9,345	9,340	9,335	2,195

別表第1（第52条関係）

学 部	学 科 等	収容定員	入学定員	第3年次 編入学定員
		人	人	人
文学部	人文学科	700	175	
	計	700	175	
教育学部	学校教育教員養成課程	1,000	250	
	養護教諭養成課程	120	30	
	計	1,120	280	
法学部	法学科			
	昼間コース	820	205	
	夜間主コース 計	80 900	20 225	
経済学部	経済学科			
	昼間コース	820	205	
	夜間主コース 計	160 980	40 245	
理学部	数学科	80	20	

	物理学科	140	35	20
	化学科	120	30	20
	生物学科	120	30	
	地球科学科	100	25	
	計	40		
	計	600	140	
医学部	医学科	<u>590</u>	<u>95</u>	5
	保健学科			
	看護学専攻	340	80	10
	放射線技術科学専攻	170	40	5
	検査技術科学専攻	170	40	5
	計	<u>1,270</u>	<u>255</u>	25
歯学部	歯学科	350	55	5
	計	350	55	5
薬学部	薬学科	240	40	
	創薬科学科	160	40	
	計	400	80	
工学部	機械工学科	320	80	
	物質応用化学科	240	60	30
	電気電子工学科	240	60	30
	情報工学科	240	60	
	生物機能工学科	320	80	
	システム工学科	320	80	
	通信ネットワーク工学科	160	40	
	計	60		
	計	1,900	460	
環境理工学部	環境数理学科	80	20	
	環境デザイン工学科	200	50	
	環境管理工学科	160	40	
	環境物質工学科	160	40	
	計	600	150	

	物理学科	140	35	20
	化学科	120	30	20
	生物学科	120	30	
	地球科学科	100	25	
	計	40		
	計	600	140	
医学部	医学科	<u>620</u>	<u>100</u>	5
	保健学科			
	看護学専攻	340	80	10
	放射線技術科学専攻	170	40	5
	検査技術科学専攻	170	40	5
	計	<u>1,300</u>	<u>260</u>	25
歯学部	歯学科	350	55	5
	計	350	55	5
薬学部	薬学科	240	40	
	創薬科学科	160	40	
	計	400	80	
工学部	機械工学科	320	80	
	物質応用化学科	240	60	30
	電気電子工学科	240	60	30
	情報工学科	240	60	
	生物機能工学科	320	80	
	システム工学科	320	80	
	通信ネットワーク工学科	160	40	
	計	60		
	計	1,900	460	
環境理工学部	環境数理学科	80	20	
	環境デザイン工学科	200	50	
	環境管理工学科	160	40	
	環境物質工学科	160	40	
	計	600	150	

農学部	総合農業科学科	480	120	
	計	480	120	
合 計		<u>9,300</u>	<u>2,185</u>	80

農学部	総合農業科学科	480	120	
	計	480	120	
合 計		<u>9,330</u>	<u>2,190</u>	80

別表第2～別表第4 省 略

別表第2～別表第4 同 左

岡山大学医学部規程新旧対照表（案）

現 行	改 正
<p>第1条～第9条 省 略 （教育課程の編成方法等）</p> <p>第10条 本学部の教育課程は，教養教育科目及び専門教育科目により編成する。</p> <p>2 省 略</p> <p>3 専門教育科目の授業科目名等は，医学科にあつては別表第2，保健学科にあつては別表第3のとおりとする。</p> <p>4 省 略</p> <p>第11条～第27条 省 略 （卒業の要件）</p> <p>第28条 卒業の要件は，本学部の医学科にあつては6年以上在学し，別表第1及び別表第2に掲げる授業科目の中から別表第4に定める単位数を，保健学科にあつては4年以上在学し，別表第1及び別表第3に掲げる授業科目の中から別表第4に定める単位数を修得するものとする。</p> <p>2 省 略</p> <p>第29条～第35条 省 略</p>	<p>第1条～第9条 同 左 （教育課程の編成方法等）</p> <p>第10条 本学部の教育課程は，教養教育科目及び専門教育科目により編成する。</p> <p>2 同 左</p> <p>3 専門教育科目の授業科目名等は，医学科にあつては別表第2，保健学科にあつては別表第3のとおりとする。</p> <p>4 同 左</p> <p>第11条～第27条 同 左 （卒業の要件）</p> <p>第28条 卒業の要件は，本学部の医学科にあつては6年以上在学し，別表第1及び別表第2に掲げる授業科目の中から別表第4に定める単位数を，保健学科にあつては4年以上在学し，別表第1及び別表第3に掲げる授業科目の中から別表第4に定める単位数を修得するものとする。</p> <p>2 同 左</p> <p>第29条～第35条 同 左</p> <p style="text-align: center;"><u>附 則</u></p> <p><u>1 この規程は，平成21年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>2 改正後の別表第2及び別表第4の規定にかかわらず，平成20年度以前の入学者については，なお従前の例による。</u></p>
<p>別表第1 省 略</p>	<p>別表第1 同 左</p>

別表第2

〔医学科の専門教育科目の授業科目名等〕

授 業 科 目		単位数	必修選択 の別
専 門 基 礎 科 目	省 略		
専 門 科 目	省 略		
	衛生学・公衆衛生学実習	2	必修
	_____	-	_____
	法医学	4	必修
	省 略		

別表第3 省 略

別表第2

〔医学科の専門教育科目の授業科目名等〕

授 業 科 目		単位数	必修選択 の別
専 門 基 礎 科 目	同 左		
専 門 科 目	同 左		
	衛生学・公衆衛生学実習	2	必修
	<u>地域医療体験実習（へき地短期ホームステイ &地域医療研修）</u>	<u>3</u>	<u>選択</u>
	法医学	4	必修
	同 左		

注) 「地域医療体験実習（へき地短期ホームステイ&地域医療研修）」は、平成21年度入学者から実施する「地域枠コース」の入学試験を受験して入学した学生は必修科目とし、「地域枠コース」以外の入学試験を受験して入学した学生は選択科目とする。

別表第3 同 左

別表第4

〔卒業要件単位数〕

学科等		医学科		保健学科		
				看護学 専攻	放射線技術 科学専攻	検査技術科 学専攻
科目区分						
教養教育科目		45単位		35単位		
専門 教育 科目	専門基礎 科目	12単位		23単位	22単位	
	専門科目	179.5単位		66単位	67単位	
	計	191.5単位		89単位		
合計		236.5単位		124単位		

注) 履修に当たっては、所属学科の指導を受けること。

別表第4

〔卒業要件単位数〕

学科等		医学科		保健学科		
		<u>地域枠入試以外 で入学した者</u>	<u>地域枠入試で 入学した者</u>	看護学 専攻	放射線技術 科学専攻	検査技術科 学専攻
科目区分						
教養教育科目		45単位		35単位		
専門 教育 科目	専門基礎 科目	12単位		23単位	22単位	
	専門科目	179.5単位	<u>182.5単位</u>	66単位	67単位	
	計	191.5単位	<u>194.5単位</u>	89単位		
合計		236.5単位	<u>239.5単位</u>	124単位		

1) 履修に当たっては、所属学科の指導を受けること。

2) 医学科における「地域枠入試で入学した者」とは、平成21年度入学者から実施する「地域枠コース」の入学試験を受験して入学した者をいい、「地域枠入試以外で入学した者」とは、「地域枠入試で入学した者」以外の者をいう。

本学における医学部医学科の収容定員変更を実施する審議は、経営協議会、教育研究評議会及び役員会にて行われいずれも承認された。

以下に各会議の議事要旨等の原本の写しを添付する。

平成20年10月31日

岡山大学長

千葉 喬 三

収容定員変更の趣旨等を記載した書類

1. 収容定員変更の内容

平成21年度入学生から、医学部医学科の1年次生の入学定員を5名増とし、現在95名の入学定員を緊急医師確保対策に基づく定員増5人を含んで105名とする。

2. 収容定員変更の必要性

岡山県の人口当たりの医師数は全国平均を上回っているが、地域や診療科による偏在があり、県北地域や中山間地域等の医師不足が課題となっている。これまで、県内の病院等は主に岡山大学からの医師派遣等により医療提供体制の確保が図られているが、新医師臨床研修の開始や専門医志向の高まりなどから都市部の市中病院に研修医が集中する傾向が強まっている。

こうした状況も踏まえながら、大学病院や中核となる病院、医療関係団体等で構成する岡山県医療対策協議会（資料1）において、本県の総合的な医師確保対策について検討してきたところである。

特に、高梁・新見、真庭、津山・英田の県北部の3医療圏については、人口あたり医師数が全国平均より約2～3割少なく、休日や夜間であっても地域の病院等で受診や入院ができる救急医療体制の確保等が課題となっている。また、この10年間の医師数は、県南東部、県南西部圏域では増加傾向にあるが、高梁・新見、真庭の2圏域では減少傾向にあり、津山・英田圏域では横ばい傾向にある。高齢化の進展の状況や地域の実情を踏まえながら、どこに住んでいても安心して医療が受けられるよう地域や診療科による医師の偏在を解消することが課題となっている。このため、既に緊急医師確保対策に基づき、本学と岡山県とが連携し、地域医療に貢献する医師の養成・確保を図るため5人の医師養成増に取り組んでいるところである。

また、本学は創立以来、中国・四国・兵庫の広い地域の医療機関における医師の供給を担ってきたが、近年、中国・四国各県の大学病院での後期研修医が少なくなり、本学及び地元の大学病院の医師派遣機能が低下して、中国地方山間部、内海島嶼部は言うに及ばず、山陰諸都市、内海沿岸工業都市でも医師不足に陥っている。このような地域は、岡山県北部、広島県備後北部、鳥取県因幡全域、山口県周防全域、香川県小豆島、愛媛県東予全域、高知県全域などがある。そこで本学ではあらためてこれらの医師不足の地域を評価し、地元の大学医学部の支援が乏しくなった地域に対し、その域内の公的病院からこれ以上の人材が減少することないように支援しているところである。

さらに、このような医師不足が深刻な地域や診療科を担う人材の育成・確保が重要な課題であることから、経済財政改革の基本方針2008に基づく医師養成課程の入学定員増に取り組む必要がある。

3. 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程・教育方法及び履修指導方法の変更内容

地域医療・診療科への関心と意欲を高めるための授業及び早期体験学習や臨床実習における地域医療等と接する機会を提供するために、以下のカリキュラム（資料2，3）を実施する。

カリキュラム編成の中で地域医療に関する授業内容や医療現場での体験実習プログラムの充実に着手している。

特に、地域医療体験実習及び選択制臨床実習においては、岡山県内を初め中国・四国地域の医療機関等での実習を中心とし、地域医療教育に関する効果を高める。

今後、県に対して要望している本学と県との連携講座（寄附講座）や本学独自の緩和医療学分野（寄附講座）の新設を通して教育・研究指導体制を強化することにより、地域医療を担う優秀な人材の輩出が期待され、地域医療に貢献する医師の確保・養成に繋がるものである。

① 1年次開講科目

【新入生研修】

医学科新入生の早期体験と新入生相互の親睦を深めるため、入学後3か月以内の時期に、全国トップの規模の社会福祉法人「旭川荘」で見学体験実習を新入生に対し実施している。地域に根ざした医療福祉活動の現場を実体験し、小児から高齢者まで様々な年齢構成の入荘者及び職員との触れあいの中で、自らの将来の医師像に焦点をあて、動機付けを図ることを目的としており、特に地元の医療福祉の実態を認識させる。

【早期体験実習】

上記と深い関連をもつ実習で、早期体験（early exposure）を目的とした実習であるので、医学の専門知識がなくても、体を感じることで保健・医療・福祉活動に興味を覚え、その問題点を見出すような内容のものと、救急救命術の初歩を体得し、人命の尊さと医師の責務を実感する内容であり、以下の充実した実習を行うことにより、地域医療の現場を体験し、動機付けを図る。

この実習の中のプログラムとして、地域の高齢者保健福祉施設での見学実習や、保健所業務の見学実習、地域の診療所等での保健医療福祉施設の見学実習、さらに、岡山市内で多職種連携により在宅医療を行っている現場を見学し、地域医療への理解と動機付けを高めさせる。

② 2年次開講科目

【基礎病態演習】

Case-Oriented System を用い、自ら problems を設定し、それを解決する過程により、self-learning と problem-solving の力を自ら培う [Problem-Oriented Learning System] 前半は、テーマの疾患についてグ

ループ学習，討論を行う。後半では，グループごとにまとめたものについて，発表と質疑応答を行う。発表の場には各疾患の専門分野，関連分野の臨床の先生方を招聘し，臨床的な立場からコメントをいただく。発表毎に理解度判定を行い，最終日にはまとめのテストを行う。臨床医のコメンテーターとして地域医療機関の医師も招き，実際の症例と問題点を概説していただき，地域医療が抱える問題点も浮き彫りにする。地域の医療機関の医師を招き実際の症例を提示し概説することで，地域医療が内包する問題点を浮き彫りにする。

③ 3年次開講科目

【医学研究インターンシップ】

平成19年度文部科学省特色GP採択プログラムの中心をなすもので，良き医師・医学研究者になるためには，先人の積み重ねてきた医学知識を身につけると同時に，研究に対する理解と実践を通じて，新たな知を創出する活動を実体験することが重要である。このような自主的・能動的学習形式としては基礎病態演習（2年次後期）があるが，これは与えられた課題を文献調査と考察を通じて理解し解決するものである。医学研究インターンシップ（教室配属）は，そのような学習形式を一步進めて，学内，国内，国外の研究室に所属し，特定の研究テーマに焦点を当てて，実際の研究活動に従事し経験するという特徴を持っている。

この授業の中で，地域保健福祉に関する調査研究のプログラムも用意されている。研究活動を行う中で，地域医療に対する造詣を深め，問題点を探求することができる。

④ 3・4年次開講科目

【地域医療体験実習（へき地短期ホームステイ&地域医療研修）】

岡山県と市町村等の仲介により，夏休み等を活用し，1週間程度のホームステイを行う。日中は地域の医療機関で見学・実習を行い，夜はホームステイ先で地域の方々との交流を行う。

⑤ 4・5年次開講科目

【衛生学】

個人及び社会の健康の保持増進を目的とする医学の体系を学びその技術を修得する。

到達目標

- i 健康の概念及び疫学の基本を概説でき，わが国の疾病構造の推移及び主要疾病の危険因子をあげることができる。
- ii 地域保健・医療・福祉・介護の制度，ライフステージ別の一次，二次，三次予防及び福祉の方法を概説できる。
- iii 産業保健の制度及び一次，二次，三次予防の方法を概説できる。

- iv 地域保健，産業保健活動のチームリーダーとしての医師の役割について述べることができる。
- v [アドバンスとして] 地域保健及び産業保健の実際の課題に対して，問題解決の方法を地域や職場の実状に即して述べるができる。

【公衆衛生学】

公衆衛生学は社会医学であり，基礎医学と臨床医学の接点であると同時に，社会との対応が求められる分野である。その内容は，疾病を予防し，健康増進を図り，生活の質（Quality of life）を高く長く保つ為の，科学と技術についての学問といえる。また，公衆衛生活動は，共同体として健康な生活を守る上での様々な活動であり，その中で医師としての役割を果たすための知識と技術が要求される。従って医師が公衆衛生活動を行う上で不可欠な知識と技術のうち，主として予防医学にかかわる分野での知識と技術の習得がこの授業の目標である。介護老人保健施設における学外実習が含まれている。

【衛生学・公衆衛生学実習】

上記の講義と併せて行う学外実習である。

上記3科目は，地域保健及び老人介護保健の実態をより深く学び，卒業後の地域での医療活動の基礎を築くものである。

⑥ 5・6年次開講科目

【選択制臨床実習】

地域の病院等における診療参加型臨床実習のプログラムが多数含まれている。また，本学の三朝医療センターにおいて臨床実習が企画されている。3週間を基本単位（コース）とし，最大4期4コースを選択できる。学生は，臨床各科（基本臨床実習を実施する23科＋病理部，老年医学（三朝），医療情報部等）が提示した学内あるいは学外の施設での選択制臨床実習コースのリストの中から選択する。

三朝医療センターでの老年医学に関する臨床実習を積むことにより，地域医療に関する知識・技能・態度を身につける。また，地域医療体験実習の履修指導も行う。

（2）教員組織の変更内容

岡山大学と岡山県による連携講座（寄附講座）「地域医療講座（仮称）」を設立し，専任の教員を配置する（岡山県に要望中）。

なお，同講座及び医療教育統合開発センターの教員で構成する指導教員が，学部6年間にわたって指導を継続し，地域医療に対する動機付けの向上・維持に努め，ケア体制の充実を図る。この地域連携講座では地域医療のあり方を計画立案し，岡山県や市町村に対し政策提言を行ったり，学生に対し地域医療に関する教育・啓発活動などを行う。

また、緩和医療学講座（寄附講座）の新設を予定しており、緩和医療教育は、がんプロフェッショナル養成プラン、高齢者・在宅・緩和医療プロフェッショナル養成プランに共通しており、これを担当する寄附講座を開設し、学部教育にも関与させる。

このほか、医療のマネジメントに関する教育能力を充実させるため、医療経済学、医療管理学分野の拡充を図る。

収容定員変更の趣旨等を記載した書類資料目次

資料番号

- 岡山県医療対策協議会について…………… 1
- 岡山大学医学部医学科カリキュラム新旧対照表…………… 2
- 岡山大学医学部医学科カリキュラム概要(地域医療に関する科目)…………… 3

1 目的

地域の実情に応じた医療を確保するため、関係者による協議の場を設け、地域の医療状況の分析や必要な医師の確保対策、医療機関の機能分担や連携等について検討する。

2 協議会委員

医師養成機関である大学病院、医師会や病院協会等の関係団体、医療連携の要となる中核的な病院、市町村等の関係者16名で構成する。

3 検討状況等

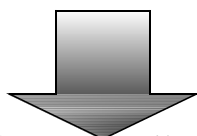
平成19年度は協議会を4回開催し、県北地域等への新たな医師派遣体制の構築など、具体的な検討を進めたほか、「これからの医師確保と医療提供体制について」をとりまとめ、大学病院や中核となる病院等と連携して取り組むこととしている。

【背景等】

- ・新医師臨床研修制度により市中病院で医師の研修が始まり大学病院における若手医師数の減少と大学医局による医師派遣機能の低下
- ・産科医師数が減少し分娩取り扱い施設が減少
- ・小児科（救急）時間外診療が増加
- ・人口当たり医師数が全国平均を大きく下回る医療圏が存在
- ・平成19年度の医療法改正に伴い制度化

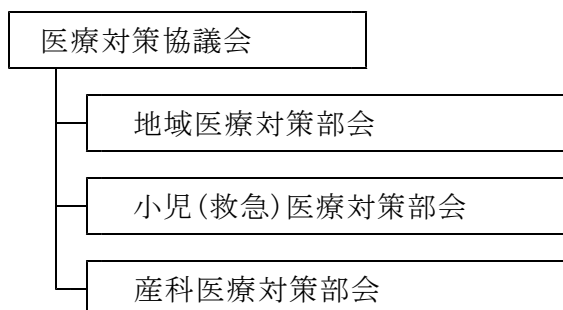
協議内容

- ・地域や診療科ごとの医療提供体制の分析
- ・地域医療を担う医師の確保策
- ・産科・小児科医療の連携や体制の確保
- ・医療機関の役割分担と連携方策の検討等



関係団体と協働した効果的な医療確保対策の推進

4 協議会の構成



5 今後の予定

平成20年度は、医療対策協議会を4回程度、各部会を2回程度開催する予定。

岡山県医療対策協議会設置要綱

(設置)

第1条 医療法（昭和23年法律第203号）第30条の12第1項の規定に基づき、県内における医療従事者の確保その他必要とされる医療の確保に関する事項を協議するため、岡山県医療対策協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は前条の目的を達成するため、次の事項を所掌する。

- (1) 県内における医療従事者の確保その他必要とされる医療の確保に関する事項
- (2) 地域における医療従事者の確保その他必要とされる医療の確保に関する事項
- (3) 小児科・産科等における医療従事者の確保その他必要とされる医療の確保に関する事項
- (4) その他、医療従事者の確保その他必要とされる医療の確保に関する事項

(組織)

第3条 協議会は、委員16人以内をもって組織する。

2 委員は、県知事が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員等)

第5条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

(意見の聴取等)

第7条 協議会は、その任務を行うために必要があると認めるときは、関係者に対して、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(専門部会)

第8条 協議会は、その所掌事項に係る専門事項を調査審議させるため専門部会を置くことができる。

2 専門部会の組織、運営その他必要な事項は、会長が協議会に諮り別に定める。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、保健福祉部施設指導課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、県知事が別に定める。

附 則

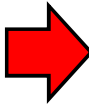
この要綱は、平成19年7月31日から施行する。

岡山県医療対策協議会委員名簿

所 属	氏 名	備 考
岡山県医師会 会長	井戸俊夫	
岡山県病院協会 会長	土井章弘	
岡山県看護協会 会長	藤原恭子	
岡山大学病院 院長	森田 潔	
川崎医科大学附属病院 院長	角 田 司	
国立病院機構岡山医療センター 院長	青山興司	
総合病院岡山赤十字病院 院長	近藤捷嘉	
岡山済生会総合病院 院長	糸島達也	
倉敷中央病院 院長	内 田 璞	
津山中央病院 院長	徳田直彦	
新見市長(岡山県市長会からの推薦)	石垣正夫	
鏡野町長(岡山県町村会からの推薦)	山崎親男	
岡山県自治体病院協議会 会長	松本健五	
岡山県愛育委員連合会 会長	藤本貴子	
岡山県保健福祉部 部長	田原克志	
岡山県保健所長会 会長	二宮忠矢	
委員数：16名		

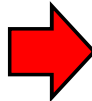
岡山大学医学部医学科カリキュラム新旧対照表(地域医療に関する科目拡充等を含む)

旧		単位数	必修 選択	配当年次学年					
区分	授業科目名			1	2	3	4	5	6
教養教育科目									
専門基礎科目	医学生物学	2.0	選必★						
	基礎医学入門	2.0	選必★						
	医学概論Ⅰ	1.0	選必★						
	医学概論Ⅱ	1.0	選必★						
	遺伝学	1.0	選必★						
	臨床医学入門	2.0	選必★						
	基礎放射線学	1.0	選必★						
	生体防御医学	1.0	選必★						
	医学統計学	2.0	選必★						
	人体の構造：入門	2.0	選必★						
専門科目	細胞生物学Ⅰ	1.0	選必★						
	細胞生物学Ⅱ	1.0	選必★						
	早期体験実習	0.5	必修★						
	細胞組織学	2.0	必修★						
	細胞組織学実習	1.0	必修★						
	人体解剖学	2.0	必修★						
	系統解剖学実習	3.5	必修★						
	神経構造学実習	2.0	必修★						
	神経構造学	1.0	必修★						
	生理学Ⅰ	3.0	必修★						
生理学Ⅰ実習	0.5	必修★							
生理学Ⅱ	3.0	必修★							
生理学Ⅱ実習	0.5	必修★							
生化学・分子医化学	6.0	必修★							
生化学・分子医化学実習	1.0	必修★							
薬理学	4.0	必修★							
薬理学実習	0.5	必修★							
病理学Ⅰ	3.0	必修★							
病理学Ⅰ実習	1.0	必修★							
病理学Ⅱ	3.0	必修★							
病理学Ⅱ実習	1.0	必修★							
細菌学	3.0	必修★							
細菌学実習	0.5	必修★							
ウイルス学	3.0	必修★							
ウイルス学実習	0.5	必修★							
生体防御医学	4.0	必修★							
生体防御医学実習	0.5	必修★							
基礎病態分子病態学系	4.5	必修★							
基礎病態先端医学系	4.5	必修★							
病理学系	3.0	必修★							
医学研究インターンシップ	8.5	必修★							
衛生学	3.0	必修★							
公衆衛生学	3.0	必修★							
衛生学・公衆衛生学実習	2.0	必修★							
法医学	4.0	必修★							
法医学実習	0.5	必修★							
内科学総論	4.0	必修★							
外科総論	1.0	必修★							
臨床放射線総論	1.0	必修★							
臨床検査総論	1.0	必修★							
医療の基	1.0	必修★							
医療の基	0.5	必修★							
臓器・系別統合講義	循環器系	2.5	必修★						
	呼吸器系	3.0	必修★						
	腎泌尿器系	2.5	必修★						
	内分泌・代謝系	2.0	必修★						
	消化器系	4.0	必修★						
	血液・造血器系	1.5	必修★						
	感染症系	1.5	必修★						
	免疫系	1.5	必修★						
	感覚器系	2.5	必修★						
	運動器系	2.5	必修★						
	脳神経系	4.0	必修★						
	精神系	1.5	必修★						
	皮膚系	2.0	必修★						
小児・発達系	4.0	必修★							
生殖系	3.0	必修★							
麻酔・救急系	3.0	必修★							
臨床実技入門	2.0	必修★							



新		単位数	必修 選択	配当年次学年					
区分	授業科目名			1	2	3	4	5	6
教養教育科目									
専門基礎科目	医学生物学	2.0	選必★						
	基礎医学入門	2.0	選必★						
	医学概論Ⅰ	1.0	選必★						
	医学概論Ⅱ	1.0	選必★						
	遺伝学	1.0	選必★						
	臨床医学入門	2.0	選必★						
	基礎放射線学	1.0	選必★						
	生体防御医学	1.0	選必★						
	医学統計学	2.0	選必★						
	人体の構造：入門	2.0	選必★						
専門科目	細胞生物学Ⅰ	1.0	選必★						
	細胞生物学Ⅱ	1.0	選必★						
	早期体験実習	0.5	必修★						
	細胞組織学	2.0	必修★						
	細胞組織学実習	1.0	必修★						
	人体解剖学	2.0	必修★						
	系統解剖学実習	3.5	必修★						
	神経構造学実習	2.0	必修★						
	神経構造学	1.0	必修★						
	生理学Ⅰ	3.0	必修★						
生理学Ⅰ実習	0.5	必修★							
生理学Ⅱ	3.0	必修★							
生理学Ⅱ実習	0.5	必修★							
生化学・分子医化学	6.0	必修★							
生化学・分子医化学実習	1.0	必修★							
薬理学	4.0	必修★							
薬理学実習	0.5	必修★							
病理学Ⅰ	3.0	必修★							
病理学Ⅰ実習	1.0	必修★							
病理学Ⅱ	3.0	必修★							
病理学Ⅱ実習	1.0	必修★							
細菌学	3.0	必修★							
細菌学実習	0.5	必修★							
ウイルス学	3.0	必修★							
ウイルス学実習	0.5	必修★							
生体防御医学	4.0	必修★							
生体防御医学実習	0.5	必修★							
基礎病態分子病態学系	4.5	必修★							
基礎病態先端医学系	4.5	必修★							
病理学系	3.0	必修★							
医学研究インターンシップ	8.5	必修★							
衛生学	3.0	必修★							
公衆衛生学	3.0	必修★							
衛生学・公衆衛生学実習	2.0	必修★							
地域医療体験実習(へき地短期ホームステイ&地域医療研修)	3.0	必修 選択							
法医学	4.0	必修★							
法医学実習	0.5	必修★							
内科学総論	4.0	必修★							
外科総論	1.0	必修★							
臨床放射線総論	1.0	必修★							
臨床検査総論	1.0	必修★							
医療の基	1.0	必修★							
医療の基	0.5	必修★							
臓器・系別統合講義	循環器系	2.5	必修★						
	呼吸器系	3.0	必修★						
	腎泌尿器系	2.5	必修★						
	内分泌・代謝系	2.0	必修★						
	消化器系	4.0	必修★						
	血液・造血器系	1.5	必修★						
	感染症系	1.5	必修★						
	免疫系	1.5	必修★						
	感覚器系	2.5	必修★						
	運動器系	2.5	必修★						
	脳神経系	4.0	必修★						
	精神系	1.5	必修★						
	皮膚系	2.0	必修★						
小児・発達系	4.0	必修★							
生殖系	3.0	必修★							
麻酔・救急系	3.0	必修★							
臨床実技入門	2.0	必修★							

		旧								
区分	授業科目名	単位数	必修 選択	配当年次学年						
				1	2	3	4	5	6	
専門科目	基本臨床実習	消化器・肝臓・感染症学 内科	2.0	必修				★	★	
		血液・腫瘍・呼吸器学 内科	2.0	必修				★	★	
		腎・免疫・内分泌代謝学 内科	2.0	必修				★	★	
		神経精神医学	1.0	必修				★	★	
		小児科学	2.0	必修				★	★	
		消化器・腫瘍外科学	2.0	必修				★	★	
		腫瘍・胸部外科学	2.0	必修				★	★	
		整形外科学	1.0	必修				★	★	
		皮膚科学	1.0	必修				★	★	
		泌尿器科学	1.0	必修				★	★	
		眼科学	1.0	必修				★	★	
		耳鼻咽喉科学	1.0	必修				★	★	
		放射線医学	1.0	必修				★	★	
		産科婦人科学	2.0	必修				★	★	
		麻酔・蘇生学	1.0	必修				★	★	
		脳神経外科学	1.0	必修				★	★	
		総合診療内科・ 臨床検査医学	1.0	必修				★	★	
		循環器内科学	1.0	必修				★	★	
		心臓血管外科学	1.0	必修				★	★	
		神経内科学	1.0	必修				★	★	
	小児神経学	1.0	必修				★	★		
	救急医学	1.0	必修				★	★		
	形成外科学	1.0	必修				★	★		
	選択制臨床実習	8.0	選必				★	★		
	症候別・課題別統合講義	5.5	必修				★			
	各科臨床講義	3.5	必修				★			
	老年医学	1.0	選必				★			
	臨床薬理学・薬剤学	1.0	選必				★			
生命倫理学	1.0	必修				★				
医療管理学	1.0	選必					★			
緩和医療学	1.0	選必					★			
東洋医学	1.0	選必					★			



		新								
区分	授業科目名	単位数	必修 選択	配当年次学年						
				1	2	3	4	5	6	
専門科目	基本臨床実習	消化器・肝臓・感染症学 内科	2.0	必修					★	★
		血液・腫瘍・呼吸器学 内科	2.0	必修					★	★
		腎・免疫・内分泌代謝学 内科	2.0	必修					★	★
		神経精神医学	1.0	必修					★	★
		小児科学	2.0	必修					★	★
		消化器・腫瘍外科学	2.0	必修					★	★
		腫瘍・胸部外科学	2.0	必修					★	★
		整形外科学	1.0	必修					★	★
		皮膚科学	1.0	必修					★	★
		泌尿器科学	1.0	必修					★	★
		眼科学	1.0	必修					★	★
		耳鼻咽喉科学	1.0	必修					★	★
		放射線医学	1.0	必修					★	★
		産科婦人科学	2.0	必修					★	★
		麻酔・蘇生学	1.0	必修					★	★
		脳神経外科学	1.0	必修					★	★
		総合診療内科・ 臨床検査医学	1.0	必修					★	★
		循環器内科学	1.0	必修					★	★
		心臓血管外科学	1.0	必修					★	★
		神経内科学	1.0	必修					★	★
	小児神経学	1.0	必修					★	★	
	救急医学	1.0	必修					★	★	
	形成外科学	1.0	必修					★	★	
	選択制臨床実習	8.0	選必					★	★	
	症候別・課題別統合講義	5.5	必修					★		
	各科臨床講義	3.5	必修					★		
	老年医学	1.0	選必					★		
	臨床薬理学・薬剤学	1.0	選必					★		
生命倫理学	1.0	必修					★			
医療管理学	1.0	選必						★		
緩和医療学	1.0	選必						★		
東洋医学	1.0	選必						★		

は、内容充実を行う科目
 は、新規開講科目
★ は、配当年次の変更を示す

岡山大学医学部医学科カリキュラム概要（地域医療に関する科目）

資料3

区分	授業科目	必修 選択	単位	学 年						期 間	授業場所	特 徴 等
				1	2	3	4	5	6			
専 門 科 目	新 入 生 研 修	必修	1	★						1日	社会福祉法人「旭川荘」	岡山を代表する全国トップの規模の社会福祉法人「旭川荘」で見学体験実習を入学後3か月以内の新入生に対し実施し、小児から高齢者まで様々な年齢構成の入荘者及び職員との触れあいの中で地元の医療福祉の実態を認識させ、自らの将来の医師像に焦点をあて、地域医療等への動機付けを図る。
	早 期 体 験 実 習	必修	0.5	★						1日 (夏季休業期間)	学外医療機関、保健医療福祉施設又は講義室	上記と深い関連をもつ実習で、以下のグループ別に充実した実習を行うことにより、地域医療の現場を体験し、地域医療従事者の役割、高齢化社会における医療・福祉・介護システムや地域における健康づくり現状の理解を深め、将来の医師としての自覚と動機付けを高めさせる。 ・ 地域の高齢者保健福祉施設での見学実習 ・ 保健所業務の見学実習 ・ 地域の診療所等での保健医療福祉施設の見学実習 ・ 岡山市内での多職種連携により在宅医療を行っている現場の見学
	基 礎 病 態 演 習	必修	12.0		★	★				2年次後期及び3年次後期	講義室及びチューリッアル室	自ら問題を設定し、それを解決するという卒業後の実社会を反映した学習である。 地域の医療機関の医師を招き、実際の症例を提示し概説していただき、地域医療が抱える問題点も浮き彫りにする。
	医 学 研 究 イ ン タ ー ン シ ッ プ	必修	8.5				★			後期(インターンシップの期間は3か月)	学内、国内或いは国外の研究室	学内、国内或いは国外の研究室に所属し、特定の研究テーマに焦点を当て、実際の研究活動に従事し経験する。この中には、地域保健福祉に関するプログラムも含まれる。研究活動を行う中で、地域医療に対する造詣を深め、問題点を探求することができる。
	衛 生 学	必修	3.0					★	★	4年次後期及び5年次夏季休業期間中	講義室及び学内外医療機関等	いずれの科目とも、地域保健及び老人介護保健の実態をより深く学び、卒業後の地域での医療活動の基礎を築かせる。 実習においては、ターミナルケア実習（在宅ターミナルケアを行う開業医と共に患者宅訪問）、診療所実習、保健所実習などが含まれる。
	公 衆 衛 生 学	必修	3.0					★		夏季休業期間中及び10月	学外医療機関等	
	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学 実 習	必修	2.0					★	★	夏季休業期間等	学外医療機関等	
	地 域 医 療 体 験 実 習 (へき地短期ホームステイ&地域医療研修)	必修・選択	3.0				★	★		3年次及び4年次の夏季休業期間中(それぞれ連1週間程度)	一般家庭及び地域の医療機関等	
	選 択 制 臨 床 実 習	選必	8.0						★	随時(3週間を2回)	大学病院及び岡山県内を初め中国等の地域医療機関	コアからさらに踏み込んだ内容の臨床実習として地域医療臨床実習を含み122コースが設定されている。その中には、岡山県内を初め中国等の地域医療機関や岡山大学三朝医療センターでの実習も設定されている。 三朝医療センターでは、老年医学に関する臨床実習を積むことにより、地域医療に関する知識・技能・態度を身につけさせる。